2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名	株式会社和井田製作所	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6158	URL	https://www.waida.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役会長兼社長	（氏名）	和井田　光生
問合せ先責任者	（役職名） 取締役管理本部長	（氏名）	上小家　崇　　(TEL) 0577-32-0390
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	2026年12月８日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	2,935	△5.5	5	△93.5	15	△87.2	△2	―
2026年３月期中間期	3,107	△20.0	87	△78.4	122	△68.9	95	△57.8

（注）包括利益　2027年３月期中間期　172百万円（△0.6%）　2026年３月期中間期　173百万円（△0.8%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△0.44	―
2026年３月期中間期	14.69	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	12,462	10,723	85.4
2026年３月期	12,535	10,646	84.3

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　10,646百万円　　2026年３月期　10,567百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	17.00	―	17.00	34.00
2027年３月期	―	18.00			
2027年３月期(予想)			―	20.00	38.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無
（注）２．2027年３月期(予想)期末配当金の内訳　普通配当　18円00銭　記念配当　2円00銭

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,524	13.0	428	68.0	501	40.9	351	27.2	53.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　―社（社名）―　　、除外　　―社（社名）―

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	7,028,000株	2026年３月期	7,028,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	490,032株	2026年３月期	505,649株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	6,527,045株	2026年３月期中間期	6,510,255株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（会計方針の変更） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における工作機械業界は、2026年４月～９月の受注総額が１兆1,835億円、うち内需が3,213億円、外需が8,622億円と、内外需ともに高水準を維持しました。今後については、内需では政策的支援の効果、外需ではAI・ロボット関連需要の活況により設備需要の伸長が期待されます。一方で、中東情勢などの地政学的リスクをはじめ、国際情勢の先行きには不透明感も残っていることから、市場動向を引き続き注視していく必要があります。

このような経済環境下、当社は、金型関連研削盤についてはプロファイル研削盤「SPG-X」やデジタルプロファイル研削盤「SPG-XV」、切削工具関連研削盤については全自動５軸複合インサート研削盤「APX-F50」や全自動溝入れインサート研削盤「GIG-202」に加え、全自動インサート外周研削盤「APX-40W」を中心に受注販売活動を展開してまいりました。

また、当社は2026年10月に開催の工作機械の国際見本市「JIMTOF2026」への出展を予定しており、デジタルプロファイル研削盤「SPG-XV」、全自動インサート外周研削盤「APX-40W」及び将来の製品化に向けて開発中の次世代５軸レーザ加工機「TLP-E」等を展示する予定であります。今後も各分野における新製品の研究開発を継続してまいります。

海外展開につきましては、各地域において将来の需要拡大を見据えた施策を推進しております。米国地域においては、連結子会社であるWAIDA AMERICA INC.にて、北米市場に向けた受注活動及び中南米市場への営業展開を進めております。欧州地域においては、ドイツの連結子会社であるWAIDA Europe GmbHに営業担当者及びアフターサービス担当者を配置し、受注販売活動やアフターサービスの強化を図っております。アジア地域においては、上海の連結子会社である和井田機床(上海)有限公司の本格稼働に向けた各種手続きを進めるとともに、アジア専門部署及び現地代理店を活用し、韓国やインドをはじめとするアジア地域向けの営業拡大に取り組んでおります。また、台湾の連結子会社である和井田精機股份有限公司を活用した生産販売体制の強化を継続しており、同社で製造しているダイヤモンドインサート刃先研削盤「DCG-G1」の販売拡大にも努めております。

このような事業活動を推進したものの、天候不良等による出荷遅延の影響を受け、売上の一部が第３四半期以降へずれ込んだこと等から、当中間連結会計期間における売上高は2,935百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は5百万円（前年同期比93.5%減）、経常利益は15百万円（前年同期比87.2%減）、親会社株主に帰属する中間純損失は2百万円（前年同期は95百万円の利益）となりました。品目別に業績を示すと、次のとおりであります。

(金型関連研削盤)

主に欧米等地域向けの販売が増加し、売上高は1,368百万円（前年同期比0.5%増）となりました。金型関連研削盤の売上高は当社グループの総売上高の46.6%を占めております。

(切削工具関連研削盤)

切削工具関連研削盤については、売上高は984百万円（前年同期比21.2%減）となりました。切削工具関連研削盤の売上高は当社グループの総売上高の33.5%を占めております。

(その他の機械)

その他の機械については、売上高は14百万円（前年同期比13.6%増）となりました。その他の機械の売上高は、当社グループの総売上高の0.5%を占めております。

(アフターサービス)

アフターサービス(有償修理)及びメンテナンス部品については、売上高は569百万円(前年同期比17.5%増)となりました。アフターサービスにおける売上高は、当社グループの総売上高の19.4%を占めております。

（２）財政状態に関する説明

(財政状態の分析)

総資産は、前連結会計年度末に比べ72百万円減少し、12,462百万円となりました。これは、主として売掛金が116百万円、商品及び製品が164百万円、仕掛品が246百万円、投資有価証券が257百万円増加し、現金及び預金が638百万円、電子記録債権が196百万円減少したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ149百万円減少し、1,738百万円となりました。これは、主として短期借入金が60百万円、長期借入金が63百万円減少したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ77百万円増加し、10,723百万円となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が179百万円増加し、利益剰余金が113百万円減少したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,238百万円減少し、3,101百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、293百万円となりました。(前年同期は226百万円の収入)

収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益16百万円、減価償却費238百万円、売上債権の減少額126百万円等であり、支出の主な内訳は、棚卸資産の増加額505百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、677百万円となりました。(前年同期は110百万円の支出)

支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出600百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、261百万円となりました。(前年同期は294百万円の支出)

支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出83百万円、配当金の支払額110百万円等であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期第２四半期(中間期)については連結業績予想を修正いたしましたが、2027年３月期通期の連結業績予想につきましては、2026年５月８日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,880,238	4,241,336
受取手形	5,536	3,880
電子記録債権	247,115	50,371
売掛金	953,599	1,070,527
契約資産	45,336	58,933
商品及び製品	116,336	280,954
仕掛品	1,317,454	1,563,469
原材料及び貯蔵品	788,062	823,685
その他	202,823	261,657
流動資産合計	8,556,502	8,354,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	519,811	499,505
機械装置及び運搬具（純額）	965,983	974,322
土地	853,090	853,090
リース資産（純額）	76,325	69,875
その他（純額）	103,012	122,778
建設仮勘定	160,000	124,307
有形固定資産合計	2,678,222	2,643,879
無形固定資産	505,177	448,824
投資その他の資産		
投資有価証券	704,170	961,667
繰延税金資産	45,747	9,680
その他	45,778	43,788
投資その他の資産合計	795,695	1,015,135
固定資産合計	3,979,095	4,107,839
資産合計	12,535,598	12,462,656

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	382,968	380,725
短期借入金	60,000	－
1年内返済予定の長期借入金	153,344	133,346
リース債務	13,881	14,026
役員賞与引当金	21,170	－
製品保証引当金	16,139	32,164
未払法人税等	14,309	16,640
その他	595,425	542,192
流動負債合計	1,257,239	1,119,095
固定負債		
長期借入金	211,125	147,795
資産除去債務	7,388	7,388
長期未払金	43,390	43,390
長期リース債務	72,616	65,566
退職給付に係る負債	266,535	276,899
製品保証引当金	30,415	25,709
繰延税金負債	－	52,907
固定負債合計	631,470	619,656
負債合計	1,888,709	1,738,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,300	843,300
資本剰余金	908,123	912,640
利益剰余金	8,673,747	8,559,965
自己株式	△343,206	△332,606
株主資本合計	10,081,964	9,983,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	420,511	600,125
為替換算調整勘定	65,399	62,865
その他の包括利益累計額合計	485,910	662,990
非支配株主持分	79,013	77,613
純資産合計	10,646,888	10,723,903
負債純資産合計	12,535,598	12,462,656

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	3,107,346	2,935,956
売上原価	1,942,485	1,867,110
売上総利益	1,164,860	1,068,845
販売費及び一般管理費	1,077,487	1,063,165
営業利益	87,373	5,680
営業外収益		
受取利息	6,607	4,550
受取配当金	8,456	10,866
受取賃貸料	6,065	5,757
為替差益	16,924	－
その他	4,238	8,541
営業外収益合計	42,291	29,716
営業外費用		
支払利息	3,863	2,946
不動産賃貸原価	3,221	3,221
為替差損	－	13,490
営業外費用合計	7,085	19,659
経常利益	122,580	15,737
特別利益		
固定資産売却益	－	329
特別利益合計	－	329
特別損失		
固定資産除却損	2,361	0
特別損失合計	2,361	0
税金等調整前中間純利益	120,219	16,066
法人税、住民税及び事業税	31,602	8,254
過年度法人税等	△25,688	－
法人税等調整額	28,376	10,992
法人税等合計	34,291	19,247
中間純利益又は中間純損失（△）	85,927	△3,180
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△9,678	△278
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	95,605	△2,902

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	85,927	△3,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,151	179,614
為替換算調整勘定	25,805	△3,655
その他の包括利益合計	87,957	175,958
中間包括利益	173,885	172,777
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	175,943	174,178
非支配株主に係る中間包括利益	△2,058	△1,400

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	120,219	16,066
減価償却費	210,546	238,917
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△4,079	11,319
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△42,840	△21,170
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	9,638	10,364
受取利息及び受取配当金	△15,064	△15,416
支払利息	3,863	2,946
為替差損益（△は益）	△19,016	5,660
固定資産売却益	－	△329
固定資産除却損	2,361	0
売上債権の増減額（△は増加）	408,052	126,620
棚卸資産の増減額（△は増加）	△137,483	△505,116
仕入債務の増減額（△は減少）	△67,614	△5,237
その他の資産の増減額（△は増加）	56,901	△52,418
その他の負債の増減額（△は減少）	△220,814	△120,507
小計	304,669	△308,300
利息及び配当金の受取額	15,064	14,022
利息の支払額	△3,782	△2,887
法人税等の支払額	△114,548	△19,196
法人税等の還付額	25,273	22,602
営業活動によるキャッシュ・フロー	226,677	△293,760
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,421	△66,401
有形固定資産の売却による収入	－	329
有形固定資産の除却による支出	△2,277	－
無形固定資産の取得による支出	△88,892	△11,286
定期預金の預入による支出	－	△600,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,591	△677,358
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	9,780	－
短期借入金の返済による支出	△30,000	△60,000
長期借入金の返済による支出	△146,338	△83,328
リース債務の返済による支出	△6,763	△6,904
配当金の支払額	△117,093	△110,879
非支配株主への配当金の支払額	△4,287	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△294,702	△261,112
現金及び現金同等物に係る換算差額	34,027	△6,670
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△144,589	△1,238,902
現金及び現金同等物の期首残高	4,472,270	4,340,238
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,327,681	3,101,336

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、セグメント情報は記載しておりません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、セグメント情報は記載しておりません。

［関連情報］

前中間連結累計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１　製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	金型関連研削盤	切削工具関連研削盤	その他の機械	アフターサービス	合計
外部顧客への売上高	1,361,315	1,249,076	12,580	484,374	3,107,346

２　地域ごとの情報

（売上高）

（単位：千円）

日本	中国	アジア地域（中国を除く）	欧米等の地域	合計
1,023,369	919,424	721,927	442,624	3,107,346

（注）　国または地域の区分方法及び各区分に属する主な国または地域

(1)　国または地域の区分は、地理的接近度によっております。

(2)　各区分に属する主な国または地域

中国……中国

アジア地域(中国を除く)……台湾、韓国、東南アジア地域、南アジア地域等

欧米等の地域……米国、ヨーロッパ地域、アフリカ地域等

当中間連結累計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１　製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	金型関連研削盤	切削工具関連研削盤	その他の機械	アフターサービス	合計
外部顧客への売上高	1,368,077	984,503	14,290	569,084	2,935,956

２　地域ごとの情報

（売上高）

（単位：千円）

日本	中国	アジア地域（中国を除く）	欧米等の地域	合計
1,073,033	802,798	364,705	695,418	2,935,956

（注）　国または地域の区分方法及び各区分に属する主な国または地域

(1)　国または地域の区分は、地理的接近度によっております。

(2)　各区分に属する主な国または地域

中国……中国

アジア地域(中国を除く)……台湾、韓国、東南アジア地域、南アジア地域等

欧米等の地域……米国、ヨーロッパ地域、アフリカ地域等